

がん化学療法レジメン

[目次に戻る](#)

レジメン名	ディールディール 血液癌DLd第3～6クール(ポート)	ポート
対象疾患	多発性骨髄腫(再発又は難治性の場合に限る)	
1コース日数	28日	
対象患者区分	ヘパリンNaロック	■ 外来 ■ 入院

Rp.	癌	薬品名	投与量	day 1	day 8	day15	day21	day 22	day 28
1		カロナール錠500mg	2錠	●		●			
		レスタミンコーワ錠10mg	3錠	●		●			
		ダラザレックス投与開始1-3時間前(ダラザレックス投与日の朝食後)							
2	癌	レブラミドカプセル5mg	1回5C	●	→	→	→	●	
		1日1回夕食後							
4	癌	レナデックス錠4mg	1回10錠			●*3		●*3	
		1日1回朝食後							

Rp.	癌	薬品名	投与量	手技	投与ルート	点滴時間	day1	day 2	day 15	day 16	day 28
1		ヘパリンNaロック用10単位/mLシリンジ10mL「テバ」	1 筒	ルートロック	メイン	開始時	●		●		
2		大塚生食注250mL	1 袋	点滴静注	メイン	20mL/h	●		●		
3	癌	デキサート注射液3. 3mg1mL	5 A	点滴静注	側管	15分	●	●	●	●	
		生理食塩液「ヒカリ」50mL	1 瓶								
4	癌	ダラザレックス点滴静注400mg	16 mg/kg	点滴静注	メイン	投与速度は指示コメント参照	●		●		
	癌	ダラザレックス点滴静注100mg									
		大塚生食注500mL	1 袋								
5		大塚生食注500mL	1 袋	点滴静注	メイン	20mL/h	●		●		
						翌日デキサート開始までで残破棄					
6		ヘパリンNaロック用10単位/mLシリンジ10mL「テバ」	1 筒	ルートロック	メイン	終了時		●		●	

- ・ * 3:各週のday8～14のいずれかとday22～28のいずれかに投与すること。
- ・ DLdのDはダラザレックスの一般名のdaratumumab(ダラツムマブ)のD、Lはレブラミドの一般名のレナリドミド(lenalidomide)のL、dはデキサートもしくはレナデックスの一般名dexamethasone(デキサメサゾン)のd
- ・ 50mL/時の投与速度で点滴静注を開始する。Infusion reactionが認められなかった場合には、患者の状態を観察しながら希釈後の総量及び投与速度を以下のように変更することができる。ただし、投与速度の上限は200mL/時とする。

本剤の希釈後の総量及び投与速度

投与時期	希釈後の総量	投与開始からの投与速度(mL/時)			
		0～1時間	1～2時間	2～3時間	3時間以降
初回	1000mL				
2回目	500mL * 1	50	100	150	200
3回目以降	500mL * 2	100	150	200	

- * 1: 初回投与開始時から3時間以内にinfusion reactionが認められなかった場合、500mLとすることができる。
- * 2: 初回及び2回目投与時に最終速度が100mL/時以上でinfusion reactionが認められなかった場合、100mL/時から開始することができる。